



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

## — あいなん音故地新 —

### 「記憶と忘却」

"時間薬(じかんぐすり)"と言うように、心に負った痛みは時間とともに傷口がふさがっていき、それは、生きている間の悲しみや苦しみを全て鮮明に記憶していたらつら過ぎて生きていけんから。それと同じように生き抜くために私たちが身に付けた術が"記憶する"ということ。忘れることとは真逆やね。つらい過去や記憶がいつまでも心の片隅に居座るのは、これを経験するとしんどいよ、心が痛むよ、繰り返してたら生きるのが楽しくなくなるよ、って自分自身に教え続けるため。自分で自分を守るため。生き抜くため。うれしかったことよりも嫌やったことを覚えてるのはこのため。

何年経っても忘れられん苦い記憶は、人にあきれられるようなささいな出来事でも自分にとっては重要なこと。きっとまた記憶に残るつらい経験をするやろう。それは誰も避けては通れん。やから、自分の記憶をたどりながら避けられることは避けて通ろう。自分を守ろう。生きることがつらくならんように。明日も笑えるように。

(テノヒラkiku)



本日！海日和！！ vol.135



## 「神出鬼没」



今年の節分は2月3日である。豆まきをしたり、最近では恵方巻を食べたりするご家庭も多いのではないだろうか。

節分には鬼が付きものだが、生き物にも、オニヤンマ、オニユリ、オニヒトデなど鬼が付いているものが多い。魚だとオニオコゼ、オニカサゴ、オニカマスなどが知られている。これは他の種類よりも体が大きかったり、鋭い刺があったりする場合に、強い鬼をイメージして付けられたようである。

今月号の主役、オニハタタテダイは、額に角のような突起が一本生えている。これを鬼の角と見立てたのだろう。学名では、一角獣(ユニコーン)と呼ばれている。そして、背びれが長く伸びている姿が旗を立てているかのようなので、旗立てとも付いてい



【鬼旗立鯛 (オニハタタテダイ)】

る。体長は25cm程で黒と黄色の縞模様が特徴である。

図鑑では伊豆諸島以南の分布となっているが、どの地域でも数は少なく、神出鬼没の珍魚である。私が見たのも写真の1匹だけだ。珍しくて美しい鬼なので、決して出ていかないよう自然豊かな海を守りたいものである。

(撮影地：瀬ノ浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照